

第7回 土岐川流域新五流総地域委員会 議事概要

土岐川流域新五流総地域委員会事務局

日時：平成30年7月11日（水）13:30～15:30

場所：東濃西部総合庁舎 別棟1階 入札室

1. 議事

- (1) 会議統合と規約の改正について
- (2) 「近年の水害を踏まえた水害対策の方向性」について
- (3) 「土岐川流域における総合的な治水対策プラン」について
- (4) 危機管理型水位計の活用及び大規模浸水想定区域を想定した避難の考え方について

2. 議事要旨

- (1) 会議統合と規約の改正について

経緯や改正内容について事務局より説明。特に、質疑なし。

- (2) 「近年の水害を踏まえた水害対策の方向性」について

資料2について事務局より説明。特に、質疑なし。

- (3) 「土岐川流域における総合的な治水対策プラン」について

進捗の内容について事務局から説明があり、質疑、意見交換がなされた。質疑応答、意見の主な内容は以下のとおりである。

- ・ 雨の降り方が変わってきているとともに、山の中でも太陽光パネルの設置が目立つようになり、土地の使い方（土地開発行為）が変わってきているように思う。これにより山に降った雨が川に出てくる流出時間が早くなっているように思う。
- ・ 太陽光パネルの設置に関しては法的な規制が出来ない状況である。しかし、土岐市では1,000m²以上の太陽光パネル設置については開発行為と同じレベルで指導要綱に基づき協議を行っている。その中で排水容量等についても協議している。
- ・ 多治見市では平成23年度の台風豪雨を受けて雨水排水対策を行ってきたが、その中で河川や調整池の浚渫などの流出抑制対策についても行ってきた。このような流域に影響のある対策の事業費については補助金などの支援があればありがたい。
- ・ 資料3の現況流下能力図の100%は中期目標（河川整備計画）に対しての数字であり、長期計画（基本方針）に対しては100%ではないので、その点がわかる表現に変えた方がよいのではないか。
- ・ 恵那市では山林への太陽光パネルの設置が非常に多い。年に60件を超える設置があり、大きいものでは200,000m²以上の計画もある。これまでは土地開発の条例を準用することで指導してきたが、今度の9月議会において太陽光パネル設置の規制条例を上程する予定で

ある。

- ・河川改修においては、流域の人命財産も守るのが第一であるため流下を阻害するような構造は出来ないと思うが、洪水時の魚の逃げ場となるたまり・ワンドなどを改修時には考慮してほしい。
 - 河床部のみお筋が自然な形状で回復できるようスライドダウン掘削を行ったり、岩河床部では現地発生材を利用するなどしている。
- ・資料3で水位計の設置状況の説明があったが、危機管理型水位計の設置については今後どの程度予定しているのか。
 - 土岐川流域で10箇所予定している。
- ・危機管理型水位計については、リアルタイムで情報を得ることでき大変有効であると考えている。瑞浪市においては、先日、市が管理する猿爪川^{ましづめ}において1基設置をし、地域の方に水位情報を見ていただけるようにしたところである。
- ・多治見市においては、災害対策本部を設置した際、FMたじみや災害応援協定を締結している建設工業会の方に入ってもらって情報を速やかに発信できる体制を整えている。
- ・土岐市では平成24年度から住民の危機意識向上のため各中学校区で災害図上訓練を継続して実施しており、平時から自助・共助について理解をしていただくよう努めている。
- ・各地域で図上訓練が実施されており、防災・減災意識の向上は重要である。
- ・山林や里山の維持をしっかりとやらないと河川の氾濫につながっていくと思う。
- ・河川上流にあるダムは、治水上、万能ではない。計画規模を超える雨が降り続けると洪水調節が出来なくなる。それでも、ダムに入ってくる水量より多くの水を下流へ流すことは無いが、地域の住民の方々には、そういったことを理解した上で情報を自ら入手していただき、自ら考えて行動してもらいたい。

(4) 危機管理型水位計の活用及び大規模浸水想定区域を想定した避難の考え方について

資料2、資料4について事務局から説明があり、質疑、意見交換がなされた。質疑応答、意見の主な内容は以下のとおりである。

- ・国土交通省では国管理河川109水系で洪水情報のプッシュ型配信を実施している。プッシュ型配信は予め登録していなくても一方的に情報が配信される仕組みとなっている。今回の豪雨でも四国・中国地方では洪水情報が発信された。
- ・国土交通省と文部科学省と連携して防災教育に力を入れている。
- ・砂防事業では河道内への土砂の流入を防ぐため砂防えん堤を設置しているが、国では昨年度から既存の砂防えん堤を改良して流木対策を実施している。